

カリキュラム編成表（授業科目等の概要）

令和5年度 商業実務専門課程（ホテル・ブライダル学科）													
科目区分①	科目区分②	年次	学期	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	履修方法		
				必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技
専門	ホテルマンとして必要な知識と技術を習得する	1	前期	○			ホテル概論ⅠA	ホテルに関する基本的知識を習得し、体系的にホテルを理解することを目的とする	30	2	○		
		1	後期	○			ホテル概論ⅠB	ホテルに関する応用的知識を習得し、経営の立場からホテルを理解することを目的とする	30	2	○		
		2	前期	○			ホテル概論ⅡA	ホテルに関する応用的知識を習得し、経営の立場からホテルを理解することを目的とする	30	2	○		
		1	前期	○			F B 実務ⅠA	レストラン運営を中心に地域の食材を使用したメニュー開発や調理・サービス方法、実務を学びます	60	2		○	
		1	後期	○			F B 実務ⅠB	レストラン運営を中心に地域の食材を使用したメニュー開発や調理・サービス方法、実務を学びます	60	2		○	
		2	前期	○			F B 実務ⅡA	レストラン運営を中心に地域の食材を使用したメニュー開発や調理・サービス方法、実務を学びます	60	2		○	
		2	後期	○			F B 実務ⅡB	レストラン運営を中心に地域の食材を使用したメニュー開発や調理・サービス方法、実務を学びます	60	2		○	
		1	前期	○			ブライダル概論ⅠA	婚礼の流れや理由等を一連の作業を通して学び、実際に活用できることを目的とする	60	4	○		
		1	後期	○			ブライダル概論ⅠB	婚礼の流れや理由等を一連の作業を通して学び、実際に活用できることを目的とする	60	4	○		
		2	前期	○			ブライダル概論ⅡA	婚礼の流れや理由等を一連の作業を通して学び、実際に活用できることを目的とする	60	4	○		
	インベンド対応のできる英語力を習得する	1	前期	○			ホテル実用英語ⅠA	ホテル業で多用される会話表現と専門用語を学ぶ	30	1		○	
		1	後期	○			ホテル実用英語ⅠB	ホテル業で多用される会話表現と専門用語を学ぶ	30	1		○	
		2	後期	○			オンライン国際協働学習ⅡA	海外の学生と、共通のテーマで、データ活用した課題解決学習を実践・発表する（英語使用）	30	1		○	
		1	前期	○			TOEIC L&RⅠA	TOEICスコア600点を目標とした読解力、リスニング力の向上	30	1		○	
		1	後期	○			TOEIC L&RⅠB	TOEICスコア600点を目標とした読解力、リスニング力の向上	30	1		○	
		2	前期	○			TOEIC L&RⅡA	TOEICスコア600点を目標とした読解力、リスニング力の向上	30	1		○	
		1	前期	○			TOEIC S&WⅠA	スピーキング・ライティングをとおしてビジネスレベルの英会話能力習得を目的とする	30	1		○	
		1	後期	○			TOEIC S&WⅠB	スピーキング・ライティングをとおしてビジネスレベルの英会話能力習得を目的とする	30	1		○	
		2	前期	○			TOEIC S&WⅡA	スピーキング・ライティングをとおしてビジネスレベルの英会話能力習得を目的とする	30	1		○	
		1	前期	○			EIC L&SⅠA	実践的に聞く力と話す力が向上することを目的とする	60	2		○	
		1	後期	○			EIC L&SⅠB	実践的に聞く力と話す力が向上することを目的とする	60	2		○	
		2	前期	○			EIC L&SⅡA	実践的に聞く力と話す力が向上することを目的とする	60	2		○	
	サービス業に求められる知識と技術を習得する	1	前期	○			サービス接遇ⅠA	お客様へのサービスの基本的テクニックや傾聴姿勢を習得する	30	1		○	
		1	後期	○			サービス接遇ⅠB	お客様へのサービスの基本的テクニックや傾聴姿勢を習得する	30	1		○	
		2	前期	○			サービス接遇ⅡA	お客様へのサービスの基本的テクニックや傾聴姿勢を習得する	30	1		○	
		2	後期	○			サービス接遇ⅡB	お客様へのサービスの基本的テクニックや傾聴姿勢を習得する	30	1		○	
		2	前期	○			フラワーアレンジメントⅡA	婚礼に必要な知識としてブライダルブーケの基本的テクニックを習得する	30	1		○	
		1	前期	○			ブライダルビューティⅠA	婚礼に必要な知識としてブライダルヘアの基本的知識を習得する	30	1		○	
		1	後期	○			ブライダルビューティⅠB	婚礼に必要な知識としてブライダルメイクの基本的知識を習得する	30	1		○	
		1	後期	○			ホテルブライダルマーケティングⅠB	新たな観光プランを創出することを目的とする	30	1		○	
		2	前期	○			ホテルブライダルマーケティングⅡA	新たな観光プランを創出することを目的とする	30	1		○	
		2	後期	○			ホテルブライダルマーケティングⅡB	新たな観光プランを創出することを目的とする	60	2		○	
		1	前期	○			色彩ⅠA	色がもたらす影響や力、そして活用術を学び、実践できることを目指す	30	1		○	
		1	後期	○			色彩ⅠB	色がもたらす影響や力、そして活用術を学び、実践できることを目指す	30	1		○	
		1	前期	○			ウエディングスビューティⅠA	世界の婚礼の歴史から現代の婚礼まで、幅広い視点から婚礼演出を学ぶ	30	1		○	
		1	後期	○			ウエディングスビューティⅠB	世界の婚礼の歴史から現代の婚礼まで、幅広い視点から婚礼演出を学ぶ	60	2		○	
	現場力・実践力を身に付ける	2	後期	○			インターンシップ（海外）ⅡB	海外にて実践的な英語の活用とマーケティング、イノベーションについて学ぶことを目的とする	450	10			○
		2	後期	○			インターンシップ（国内）ⅡB	授業で学んだホテル・ブライダルの知識を現場で実践することを目指す	180	4			○
		2	後期	○			MOT演習ⅡB	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。日常業務に必要な表計算・グラフ作成・関数の技術を身につける。	30	1		○	
		2	前期	○			ICT演習ⅡA	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。日常業務に必要な表計算・グラフ作成・関数の技術を身につける。	30	1		○	
		1	前期	○			表現力ⅠA	コミュニケーション授業や演習を学び、自己表現力や社会性を身に付ける	30	1		○	
		1	前期	○			就職支援ⅠA	「将来の仕事や人生についてどのように考えたいのか」「将来の目標を実現するために何が不可欠か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就労支援的・キャリア形成的・社会的な学びを身に付ける。	30	1		○	
		1	後期	○			就職支援ⅠB	「将来の仕事や人生についてどのように考えたいのか」「将来の目標を実現するために何が不可欠か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就労支援的・キャリア形成的・社会的な学びを身に付ける。	30	1		○	
		2	前期	○			就職支援ⅡA	「将来の仕事や人生についてどのように考えたいのか」「将来の目標を実現するために何が不可欠か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就労支援的・キャリア形成的・社会的な学びを身に付ける。	30	1		○	
		1	前期	○			データマーケティングⅠA	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と態度を養育によって身に付け、データマーケティングとしての基礎的素養を深める。	30	1		○	
		1	後期	○			データマーケティングⅠB	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と態度を養育によって身に付け、データマーケティングとしての基礎的素養を深める。	30	1		○	
合計								50 科目	2310 単位時間	79	単位		
卒業要件及び履修方法								授業期間等					
卒業要件：1710単位時間以上 GPA 2.0以上 必修科目を取得していること 以下、必要に応じて詳細説明を記入する。 フィールドとユニットにより3フィールドに分けている。 それぞれの時数は以下。 ホテル：1710時間 留学：1770時間 ブライダル：1710時間								1 学年の学期区分		2	期		
								1 学期の授業期間		15	週		

科 目 名	ホテル概論Ⅰ A						学期	前 期
担当教員	高野 直人	科目区分	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	宿泊産業の中のホテルについて、現場で実際に起こる事例を交え歴史（外国、日本）、種類、社会的役割、構成内容（部門別）、専門用語の理解などホテル産業に携わるための知識を習得							
授業内容	ホテル産業の基礎的知識を学習する							
学習目標	今後さらにグローバル化する地域、社会におけるホテル産業の重要性とホテルの宿泊、料飲、宴会、調理各部門							
使用テキスト	ホテルビジネス基礎編							
週数	授業計画				事前・事後の学習			
1	第1章 ホテルの基礎 ホテルとは	【事前】	ホテル産業について予習					
		【事後】	ホテル調査					
2	第1章 ホテルの基礎 欧米の歴史	【事前】	欧米のホテルの歴史について					
		【事後】	ホテル調査のレポート提出					
3	第1章 ホテルの基礎 日本の発展史	【事前】	日本のホテル発展史					
		【事後】	課題提出					
4	第1章 ホテルの基礎 部門別機能 ホテルの組織、サービスの基本	【事前】	サービスの基本					
		【事後】	検定試験問題集による小テスト					
5	第1章 ホテルの基礎 部門別機能 ホテルの組織、関連法規	【事前】	ホテルの組織について					
		【事後】	ホテル調査					
6	第1章 ホテルの基礎 将来展望 今後の課題 トренд調査	【事前】	トレンド調査					
		【事後】	課題提出					
7	第1章 ホテルの基礎 国際儀礼の基本	【事前】	プロトコール					
		【事後】	課題提出					
8	第1章 ホテルの基礎 ホスピタリティマインド	【事前】	ホテル調査					
		【事後】	レポート提出					
9	第1章 ホテルの基礎 ホテル関連知識	【事前】	第1章ホテルの基礎 まとめ					
		【事後】	検定試験問題集による小テスト					
10	第2章 宿泊部門の業務 宿泊部門の概要	【事前】	宿泊部門の概要					
		【事後】	課題提出					
11	第2章 宿泊部門の業務 宿泊商品の特性	【事前】	宿泊部門の特性					
		【事後】	課題提出					
12	第2章 宿泊部門の業務 組織と業務役割	【事前】	ホテル調査					
		【事後】	レポート提出					
13	第2章 宿泊部門の業務 宿泊商品の基本知識	【事前】	宿泊商品					
		【事後】	検定試験問題集による小テスト					
14	第2章 宿泊部門の業務 担当者業務	【事前】	第2章宿泊部門 まとめ					
		【事後】	検定試験問題集による小テスト					
15	第2章 宿泊部門の業務 まとめ	【事前】	第1章・2書のまとめ					
		【事後】	前期期末試験					
	評価項目/割合	評 価 内 容						
評価基準	1. 課 題 30 %	ホテル業界の理解、ホテルの基礎の習得、ホテルに関する調査レポート・授業の課題提出						
	2. 授業姿勢 30 %	集中力、社会人予備軍としてのマナー、態度を重視一私語、居眠り、姿勢（たとえば見えないと思って靴を脱いだり						
	3. テストその他 40 %	筆記文によるテストは読む人にわかり易く、誤字脱字がないように読み返す気配りがある学生						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。							
目標検定・課外授業実施予定・その他	校外実地見学・研修等を経験（見る・聞く・行う）することによって、ホテルサービスに関する初歩的業務機能を実践的に学ぶことが可能。そのことを踏まえてホテルコースは2年次に実施予定の「ホテルビジネス検定試験：ベーシック2級」の合格を目指した効果的対応を図る。企業連携を通して、企画提案や商品開発などの実践を行う。							

科 目 名	ホテル概論ⅠB						学 期	後 期	
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	ホテル産業の基礎的知識を学習する								
授業内容	宿泊産業の中のホテルについて、現場で実際に起こる事例を交え歴史（外国、日本）、種類、社会的役割、構成内容（部門別）、専門用語の理解などホテル産業に携わるための知識を習得								
学習目標	ホテルに関する基礎知識を習得し、「ホテルビジネス実務検定ベーシック2級」に合格する								
使用テキスト	ホテルビジネス基礎編								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	第3章 料飲部門の業務 料飲部門の特性	【事前】	料飲部門の特性						
		【事後】	課題提出						
2	第3章 料飲部門の業務 料飲部門の組織	【事前】	ホテル・旅館調査						
		【事後】	レポート提出						
3	第3章 料飲部門の業務 料飲部門の業務役割	【事前】	料飲部門の基本知識						
		【事後】	検定試験問題集による小テスト						
4	第3章 料飲部門の業務 料飲部門の基本知識	【事前】	料飲部門の業務						
		【事後】	課題提出						
5	第3章 料飲部門の業務 料飲部門の担当業務	【事前】	料飲部門の実務						
		【事後】	ホテル・旅館調査						
6	第3章 料飲部門の業務 料飲実務の実務	【事前】	料飲部門の実務						
		【事後】	小テスト						
7	第3章 料飲部門の業務 料飲実務の実務	【事前】	料飲部門の実務						
		【事後】	レポート提出						
8	第3章 料飲部門の業務 第3章のまとめ	【事前】	料飲部門のまとめ						
		【事後】	第3章テスト						
9	第4章 宴会部門の業務 宴会商品の特性	【事前】	宴会部門の特性						
		【事後】	課題提出						
10	第4章 宴会部門の業務 宴会部門の組織	【事前】	宴会部門の組織と業務役割						
		【事後】	小テスト						
11	第4章 宴会部門の業務 宴会部門の業務	【事前】	ホテル・旅館調査						
		【事後】	課題提出						
12	第4章 宴会部門の業務 宴会部門の実務	【事前】	宴会部門の組織と業務役割						
		【事後】	小テスト						
13	第4章 宴会部門の業務 宴会部門の実務	【事前】	宴会部門の実務						
		【事後】	課題提出						
14	第4章 宴会部門の業務 まとめ 宴会部門の実務	【事前】	宴会部門の担当者業務						
		【事後】	小テスト						
15	第4章 宴会部門の業務 まとめ	【事前】	第3章・4章まとめ						
		【事後】							
評価基準	評価項目/割合		評価内 容						
	1. 課 題	30 %	ホテル業界の理解、ホテルの基礎の習得、ホテルに関する調査レポート・授業の課題提出						
	2. 授業姿勢	30 %	集中力、社会人予備軍としてのマナー、態度を重視＝私語、居眠り、姿勢（たとえば見えなないと思って靴を脱いだり						
	3. テストその他	40 %	筆記文によるテストは読む人にわかり易く、誤字脱字がないように読み返す気配りがある学生						
目標検定・課外授業実施予定・その他	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
	校外実地見学・研修等を経験（見る・聞く・行う）することによって、ホテルサービスに関する初歩的業務機能を実践的に学ぶことが可能。そのことを踏まえて「ホテルビジネス検定試験：ベーシック2級」の合格を目指した効果的対応を図る。								

科目名	ホテル概論ⅡA						学期	前期	
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	ホテル産業の基礎的知識を学習する								
授業内容	宿泊産業の中のホテルについて、現場で実際に起こる事例を交え歴史（外国、日本）、種類、社会的役割、構成内容（部門別）、専門用語の理解などホテル産業に携わるための知識を習得								
学習目標	ホテルに関する知識の習得								
使用テキスト	ホテルビジネス基礎編								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	第5章 調理部門の業務 調理部門の特性 制約要件からくる特性					【事前】	調理部門の特性		
						【事後】	課題提出		
2	第5章 調理部門の業務 調理部門の特性 メニュー開発・経費から見たもの					【事前】	ホテル・旅館調査		
						【事後】	レポート提出		
3	第5章 調理部門の業務 調理部門の組織と業務役割 調理部門の組織					【事前】	調理部門の組織		
						【事後】	小テスト		
4	第5章 調理部門の業務 調理部門の組織と業務役割 料理部門の業務					【事前】	メイン・宴会・レストラン・製菓の各業務		
						【事後】	課題提出		
5	第5章 調理部門の業務 調理部門の実務 調理の種類・施設・設備・備品					【事前】	ホテル・旅館調査		
						【事後】	レポート提出		
6	第5章 調理部門の業務 調理部門の実務 西洋料理の基礎知識					【事前】	西洋料理の基礎知識		
						【事後】	小テスト		
7	第5章 調理部門の業務 担当業務 西洋料理の主な担当者業務					【事前】	西洋料理の主な担当者業務		
						【事後】	課題提出		
8	第5章 調理部門の業務 担当業務 西洋料理の主な担当者業務					【事前】	西洋料理の主な担当者業務		
						【事後】	小テスト		
9	第5章 調理部門の業務 担当業務 西洋料理の主な担当者業務					【事前】	西洋料理の主な担当者業務		
						【事後】	第5章 調理部門のまとめ		
10	第5章 調理部門のまとめ					【事前】	第5章の復習		
						【事後】	小テスト		
11	第1章・2章の復習					【事前】	練習問題		
						【事後】	ホテルビジネス実務検定試験対策復習		
12	第3章・4章の復習					【事前】	練習問題		
						【事後】	ホテルビジネス実務検定試験対策復習		
13	検定試験対策 1章・2章					【事前】	練習問題		
						【事後】	ホテルビジネス実務検定試験対策復習		
14	検定試験対策 3章・4章					【事前】	練習問題		
						【事後】	ホテルビジネス実務検定試験対策復習		
15	検定試験対策 5章					【事前】	復習問題		
						【事後】			
	評価項目/割合		評価内容						
評価基準	1. 課題 30 %		ホテル業界の理解、ホテルの基礎の習得、ホテルに関する調査レポート・授業の課題提出						
	2. 授業姿勢 30 %		集中力、社会人予備軍としてのマナー、態度を重視＝私語、居眠り、姿勢（たとえば見えないと思って靴を脱いだり						
	3. テストその他 40 %		筆記文によるテストは読む人にわかり易く、誤字脱字がないように読み返す気配りがある学生						
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	校外実地見学・研修等を経験（見る・聞く・行う）することによって、ホテルサービスに関する初歩的業務機能を実践的に学ぶことが可能。そのことを踏まえて「ホテルビジネス検定試験：ベーシック2級」の合格を目指した効果的対応を図る。								

科 目 名	F B 実 習 I A							学 期	前	期
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2	
学習目的	マーケティングの重要性の理解とレストランの企画・運営が出来る									
授業内容	地域の食材を使用したメニュー開発や調理サービス方法、実務を学ぶ									
学習目標	ランチイベントの企画・運営									
使用テキスト										
週数	授業計画									
1	接客の基本 レストランサービス要員に求められる資質 ・ 身体的資質 ・ 知的資質									
2	接客の基本 レストランサービス要員に求められる資質 ・ 精神性と道徳性 ・ プロフェッショナルとしての資質									
3	接客の基本 資質を生かす具体的行動指針 ・ 協調性 ・ 品格のある行動									
4	接客の基本 職務上の容姿、服装 ・ 制服 ・ 身だしなみ									
5	接客の基本 ・ レストランの要員とそれぞれの任務 ・ 各種サービス準備の作業 ・ 施設の整備									
6	接客の基本 接遇動作 ・ 諸準備を完了してお客様を迎える ・ 接客にあたって									
7	什器備品 ・ 什器備品の種類、名称、用途									
8	食器の取扱いと管理 ・ 取扱い上の留意点									
9	レストランの管理業務 ・ オープン前の準備 ・ クローズ後の業務 客席案内									
10	メニュー作成 ・ メニューの構成									
11	ランチイベント									
12	ランチイベント									
13	ランチイベント									
14	ランチイベント									
15	ランチイベント振り返り									
	評価項目/割合		評 価 内 容							
評 価 基 準	1. 課 題 30 %		ランチ営業に向けての準備資料、アイデア等からの企画書、提案書から評価する							
	2. 授業姿勢 30 %		授業態度、積極性・協調性などから評価する							
	3. テスト等 40 %		レポート、テスト結果等を評価する							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標設定・課外授業実施予										

科目名	F B 実習 I B							学期	後 期
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	マーケティングの重要性の理解とレストランの企画・運営が出来る								
授業内容	地域の食材を使用したメニュー開発や調理サービス方法、実務を学ぶ								
学習目標	ランチイベントの企画・運営								
使用テキスト									
週数	授業計画								
1	フードシステム論とは								
2	フードシステムと関連産業								
3	世界の食習慣								
4	世界の食習慣								
5	食の視点から考える S D G s								
6	フードビジネスの現場視察								
7	フードビジネスの現場視察								
8	世界の食の嗜好性の多様化								
9	マーケティング視点のメニュー開発								
10	ヴィーガンメニュー								
11	ヴィーガンメニュー								
12	提供方法の考案								
13	調理・試食・評価								
14	調理・試食・評価								
15	まとめ								
	評価項目/割合		評 価 内 容						
評価基準	1. 課 題 30 %		ランチ営業に向けての準備資料、アイデア等からの企画書、提案書から評価する						
	2. 授業姿勢 30 %		授業態度、積極性・協調性などから評価する						
	3. テスト等 40 %		レポート、テスト結果等を評価する						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
日曜校 定・課 外授業 実施予									

科目名	F B実習Ⅱ B							学期	後	期
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	2	
学習目的	マーケティングの重要性の理解とレストランの企画・運営が出来る									
授業内容	地域の食材を使用したメニュー開発や調理サービス方法、実務を学ぶ									
学習目標	ランチイベントの企画・運営									
使用テキスト										
週数	授業計画									
1	メニュー考案 ・市場調査 ・コンセプト									
2	メニュー考案 ・提案書作成									
3	提案書の発表									
4	レストラン運営 ・商品化計画									
5	苦情処理 ・料飲接客サービスにおける苦情処理									
6	苦情処理 ・受客の拒否 ・スキッパーなど									
7	レストラン運営 ・セールス ・販売促進、広報									
8	サービス実技トレーニング シミュレーション									
9	サービス実技トレーニング シミュレーション									
10	ランチイベント リハーサル									
11	ランチイベント									
12	ランチイベント									
13	ランチイベント									
14	ランチイベント									
15	ランチイベント振り返り									
評価基準	評価項目/割合		評価内容							
	1. 課題 30 %		ランチ営業に向けての準備資料、アイデア等からの企画書、提案書から評価する							
	2. 授業姿勢 30 %		授業態度、積極性・協調性などから評価する							
	3. テスト等 40 %		レポート、テスト結果等から評価する							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標設定・課外授業実施予										

科 目 名	ブライダル総論Ⅰ A						学 期	前 期	
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	4
学習目的	ウェディングプランナーとして必要な基礎知識を学習する								
授業内容	ウェディングプランナーの役割、具体的業務内容、業務の流れなど仕事に携わるために必要な専門知識を、現場で実際に起こる事例を交え学ぶ								
学習目標	AWP検定に合格し、ブライダル業務全般を理解する								
使用テキスト	ウェディングプランナーテキスト								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	ヒューマン概論・歴史概論	【事前】	ブライダル産業について予習						
		【事後】	ブライダル調査						
2	言語概論・プレゼンテーション	【事前】	結婚式の歴史について						
		【事後】	ブライダル調査のレポート提出						
3	接客概論・ロールプレイング	【事前】	結婚式の発展						
		【事後】	課題提出						
4	実務概論	【事前】	サービスの基本						
		【事後】	検定試験問題集による小テスト						
5	タイムスケジュール・見積書	【事前】	結婚式の組織について						
		【事後】	ホテル調査						
6	テーブルプラン	【事前】	トレンド調査						
		【事後】	課題提出						
7	席次表と続柄	【事前】	トレンド調査						
		【事後】	課題提出						
8	オリジナルプラン作成	【事前】	結婚式場調査						
		【事後】	レポート提出						
9	オリジナルプラン提案	【事前】	まとめ						
		【事後】	検定試験問題集による小テスト						
10	クリエイティブ概論	【事前】	結婚式場調査						
		【事後】	課題提出						
11	広告・企画概論	【事前】	ブライダル商品						
		【事後】	課題提出						
12	経済概論	【事前】	ブライダル商品						
		【事後】	レポート提出						
13	披露宴の役割	【事前】	ブライダル商品						
		【事後】	検定試験問題集による小テスト						
14	披露宴の役割	【事前】	第2章宿泊部門 まとめ						
		【事後】	検定試験問題集による小テスト						
15	模擬披露宴	【事前】	まとめ						
		【事後】	前期期末試験						
評価項目/割合		評 価 内 容							
評価基準	1. 課 題 30 %	実習課題の取り組み姿勢							
	2. 授業姿勢 30 %	出席状況・授業態度・言葉遣い							
	3. テストその他 40 %	期末テスト							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科 目 名	ホテル概論ⅠB							学 期	後 期
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	4
学習目的	実際の新郎新婦の結婚式をプロデュースすることで、ブライダル業界の仕組み、ブライダルプロデュースの一連の流れ、役割、理由を学習する								
授業内容	ウェディングプランナーの役割、具体的業務内容、業務の流れなど仕事に携わるために必要な専門知識を、現場で実際に起こる事例を交え学ぶ								
学習目標	ブライダル業界の専門家達との仕事を通じたやり取りの中で、各業種、仕事への理解を深め、今後の進路選択の参考とすることが可能となることを理解する								
使用テキスト	ウェディングプランナーテキスト								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	ブライダルに関わる人々の役割	【事前】	サービス部門の特性						
		【事後】	課題提出						
2	ブライダルストーリー：集客・告知	【事前】	ホテル結婚式調査						
		【事後】	レポート提出						
3	ブライダルストーリー：計画の基礎（マーケティング）	【事前】	サービス部門の基本知識						
		【事後】	検定試験問題集による小テスト						
4	ブライダルストーリー：ビジネスパートナー選定	【事前】	プランナーの業務						
		【事後】	課題提出						
5	ブライダルストーリー：ブライダル現場における用語、必要知識の理解	【事前】	プランナーの実務						
		【事後】	ホテル結婚式調査						
6	ブライダルストーリー：プランニング・コンセプトシート作成	【事前】	プランナーの実務						
		【事後】	小テスト						
7	ブライダルストーリー：会場レイアウト・会場装飾プランニング	【事前】	プランナーの実務						
		【事後】	レポート提出						
8	ブライダルストーリー：コンセプトシートプレゼンテーション	【事前】	まとめ						
		【事後】	小テスト						
9	ブライダルストーリー：婚礼見積書の作成	【事前】	プロデューサーの特性						
		【事後】	課題提出						
10	ブライダルストーリー：新規接客の基本・ロールプレイング	【事前】	プロデューサー業務の役割						
		【事後】	小テスト						
11	ブライダルストーリー：パートナー選定、パートナーとのキックオフミーティング	【事前】	ホテル結婚式の調査						
		【事後】	課題提出						
12	ブライダルストーリー：婚礼打合せ① 全体説明、見積り、招待状、各種手配	【事前】	プロデューサー業務の役割						
		【事後】	小テスト						
13	ブライダルストーリー：婚礼打合せ後の業務① 招待状の発注、各種手配	【事前】	プランナー以外の実務						
		【事後】	課題提出						
14	ブライダルストーリー：婚礼打合せ②の準備 コンセプトシート、プランニング基礎作成 料理、飲料、装花装飾、演出、写真、映像、引出物等	【事前】	プランナー以外の業務						
		【事後】	小テスト						
15	ブライダルストーリー：婚礼打合せ後の業務② 書類作成、各種手配	【事前】	まとめ						
		【事後】							
評価項目/割合		評 価 内 容							
評価基準	1. 課 題 30 %	実際のお客様の一生に一度の結婚式を手掛けることへの責任、自身のモチベーション もっと素敵な結婚式にするための工夫							
	2. 授業姿勢 30 %	積極性・協調性・創造性・実現力・責任感・リーダーシップ・ドキュメント力							
	3. テストその他 40 %	授業内容に対するレポート ブライダルストーリーに向けての準備資料 授業以外におけるアイデア等からの企画書、							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	校外実地見学・研修等を経験（見る・聞く・行う）することによって、ホテルサービスに関する初歩的業務機能を実践的に学ぶことが可能。そのことを踏まえて「ホテルビジネス検定試験：ベーシック2級」の合格を目指した効果的対応を図る。								

科 目 名	ホテル概論ⅡA						学期	前 期	
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	4
学習目的	実際の新郎新婦の結婚式をプロデュースすることで、ブライダル業界の仕組み、ブライダルプロデュースの一連の流れ、役割、理由を学習する								
授業内容	ウェディングプランナーの役割、具体的業務内容、業務の流れなど仕事に携わるために必要な専門知識を、現場で実際に起こる事例を交え学ぶ								
学習目標	ブライダル業界の専門家達との仕事を通じたやり取りの中で、各業種、仕事への理解を深め、今後の進路選択の参考とすることが可能となることを理解する								
使用テキスト	ウェディングプランナーテキスト								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	前期の振り返り	【事前】	ブライダルのトレンド						
		【事後】	課題提出						
2	ブライダルストーリー：ビジネスパートナーとの情報共有	【事前】	ブライダルのトレンド						
		【事後】	レポート提出						
3	ブライダルストーリー：婚礼会場との打合せ、情報共有	【事前】	ブライダルのトレンド						
		【事後】	小テスト						
4	ブライダルストーリー：婚礼打合せ③の準備 最終版資料作成、手配先確認	【事前】	ブライダルのトレンド						
		【事後】	課題提出						
5	ブライダルストーリー：婚礼打合せ③ 司会打合せ、当日に向けての最終確認	【事前】	フォトウエディング						
		【事後】	レポート提出						
6	ブライダルストーリー：婚礼打合せ後の業務③ 書類作成、各種手配	【事前】	フォトウエディング						
		【事後】	小テスト						
7	ブライダルストーリー：最終確認 パートナー個別最終打ち合わせ	【事前】	フォトウエディング						
		【事後】	課題提出						
8	ブライダルストーリー：最終確認 リハーサル	【事前】	フォトウエディング						
		【事後】	小テスト						
9	ブライダルストーリー：最終確認 会場・パートナー打合せ	【事前】	レストランウエディング						
		【事後】	まとめ						
10	ブライダルストーリー：搬入、準備	【事前】	レストランウエディング						
		【事後】	小テスト						
11	ブライダルストーリー：前日リハーサル・会場確認・手配物確認	【事前】	レストランウエディング						
		【事後】	検定問題						
12	ブライダルストーリー：本番	【事前】	練習問題						
		【事後】	検定問題						
13	ブライダルストーリー：反省会 オペレーション、業績、改善案	【事前】	練習問題						
		【事後】	過去問						
14	ブライダルストーリー：ビジネスパートナーとの反省会 次年度への引き継ぎ	【事前】	練習問題						
		【事後】	過去問						
15	ブライダルストーリー：振り返りディスカッション	【事前】	復習問題						
		【事後】							
	評価項目/割合	評 価 内 容							
評価基準	1. 課 題 30 %	実際のお客様の一生に一度の結婚式を手掛けることへの責任、自身のモチベーション もっと素敵な結婚式にするため							
	2. 授業姿勢 30 %	積極性・協調性・創造性・実現力・責任感・リーダーシップ・ドキュメント力							
	3. テストその他 40 %	授業内容に対するレポート ブライダルストーリーに向けての準備資料 授業以外におけるアイデア等からの企画書、							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科 目 名	ホテル実用英語ⅠA						学期	前 期	
担当教員	松倉 基晴	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	ホテルにおける各現場（フロント・レストラン・客室等）で想定される場面において、接客サービスに必要な基礎的な語彙								
授業内容	ホテルスタッフと顧客とのロールプレイ形式を中心としたアウトプット型の演習								
学習目標	ホテルにおける各現場における接客サービスに必要な基礎的な語彙・表現に習熟し、読む・聞く・話す・書くことができる								
使用テキスト	Hotel & Hospitality English by Mike Deymour, Harper Collins を軸に、適宜、補助プリント等を使用する								
週数	授業計画								
1	・オリエンテーション：①「授業の目的と目標」②「英語学習における基本的姿勢」③「アクティブラーニングとは」④「WEB								
2	Unit 1: Welcoming Guests								
3	Unit 2: Welcoming Guests with no reservation								
4	Unit 3: "Difficult" Guests								
5	Unit 4: Looking after Guests (1)								
6	Unit 5: Looking after Guests (2)								
7	Unit 6: Reservation Inquiries								
8	Unit 7: Reservation changes								
9	Unit 8: Phone Calls to Reception								
10	Unit9: Communication Problems								
11	Unit 10: Gues Problems								
12	Unit 11: At Breakfast								
13	Unit 12: At the Bar								
14	Unit 13: Complaints from Guests at the Bar								
15	Unit 14: In the Restaurant (1)								
	評価項目/割合		評 価 内 容						
備 基	1. 課 題 40 %		指定する課題（ロールプレーによる発表を含む）への取り組み状況进行评估します						
	2. 授業姿勢 30 %		出欠および授業への参加姿勢进行评估します						
	3. テスト等 30 %		毎回の授業で行うミニテストの結果进行评估します						
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
授業実	テキストの各ユニットのロールプレーが中心ですが、そのほかに、以下の演習を行います。①発音クリニック②簡単な読み物によ								

科 目 名	ホテル実用英語 I B							学 期	後 期
担当教員	松倉 基晴	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	ホテルにおける各現場（フロント・レストラン・客室等）で想定される場面において、接客サービスに必要な基礎的な語彙								
授業内容	ホテルスタッフと顧客とのロールプレイ形式を中心としたアウトプット型の演習								
学習目標	ホテルにおける各現場における接客サービスに必要な基礎的な語彙・表現に習熟し、読む・聞く・話す・書くことができる								
使用テキスト	Hotel & Hospitality English by Mike Deymour, Harper Collins を軸に、適宜、補助プリント等を使用する								
週数	授業計画								
1	Unit 14: In the Restaurant (1)※TOEIC Bridge Test の模擬試験による実力測定								
2	Unit 15: In the Restaurant (2)								
3	Unit 16: In the Restaurant (3)								
4	Unit 17: Housekeeping								
5	Unit 18: Housekeeping Problems								
6	Unit 19: Room Service								
7	Unit 20: Guest Services								
8	Unit 21: In the Business Center								
9	Unit 22: Recommendations for places to eat								
10	Unit 23: Checking Out								
11	Unit 24: Problems in Checking Out								
12	Review by Resouce Bank: Key Phrases, Key Words								
13	Review by Resouce Bank: How do I say ... ?								
14	Review by Resouce Bank: On the Phone								
15	Review by Resouce Bank: Model Emails								
	評価項目/割合		評価内容						
価 基	1. 課 題 40 %		指定する課題（ロールプレーによる発表を含む）への取り組み状況进行评估します						
	2. 授業姿勢 30 %		出欠および授業への参加姿勢进行评估します						
	3. テスト等 30 %		毎回の授業で行うミニテストの結果进行评估します						
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
授業実	テキストの各ユニットのロールプレーが中心ですが、そのほかに、以下の演習を行います。①発音クリニック②簡単な読み物による								

ホテル・ブライダル 学科							2年課程		1 年	
科 目 名	TOEIC L&R I B (High)							学期	後	期
担当教員	M. MATSUKURA	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1	
学習目的	This course aims to have the students familiarized with the TOEIC L&R Test by covering a variety of business scenes with both casual and formal words and phrases.									
授業内容	The students will build vocabularies and deepen their grammatical understandings while becoming familiar with topics dealt in the test.									
学習目標	Goals in the test score may vary from one student to another. The average goal set for the class will be 500 out of 990 points, while the target range may vary from 400 to 500.									
使用テキスト	English at Work: Book 1									
週数	授業計画									
1	Unit 6: Powerful Presentations: Reporting the News									
2	Unit 6: Powerful Presentations: Reporting the News									
3	Unit 7: Participating in a Meeting: In the Meeting									
4	Unit 7: Participating in a Meeting: In the Meeting									
5	Unit 8: Introducing Companies and Products:									
6	Unit 8: Introducing Companies and Products:									
7	Unit 9: Company Information									
8	Unit 9: Company Information									
9	Review									
10	Unit 10: Traveling on Business: Trade Shows									
11	Unit 10: Traveling on Business: Trade Shows									
12	Unit 11: Technology: Social Media									
13	Unit 11: Technology: Social Media									
14	Unit 12: Solving Problems: Business Problems									
15	Unit 12: Solving Problems: Business Problems									
備 基	評価項目/割合		評 価 内 容							
	1. 課題	30 %	Assignment: Dictation tasks and vocabulary quizzes.							
	2. 授業姿勢	30 %	Participation: Positive engagements are expected during the pair and group work.							
	3. テストその他	40 %	Tests: A review quiz after completing each unit							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
授業実	The students will self-study the books "Basic Vocabulary in Use" and "Basic Grammar in Use." The students will take a TOEIC L&R IP Test in July and/or January, 2024.									

ホテル・ブライダル 学科							2年課程		2年	
科目名		TOEIC L&R IIA (High)						学期	前	期
担当教員		M. MATSUKURA	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的		This course aims to give students the skills, strategies, practice, and confidence in taking the TOEIC L&R test.								
授業内容		In the class, the student will cover extensive exercises designed to reflect actual test formats.								
学習目標		Goals in the test scores may vary from one student to another. The average goal set for the class will be 500 out of 990 points, while the target range may vary from 500 to 600.								
使用テキスト		Longman Preparation Series for the TOEIC Test, Introductory Course								
週数		授業計画								
1		Listening Comprehension Part 1: Photographs								
2		Listening Comprehension Part 2: Qestion-Response								
3		Listening Comprehension Part 3: Conversations								
4		Listening Comprehension Part 4: Talks								
5		Listening Comprehension REVIEW								
6		Reading Comprehension Part 5: Incomplete Sentences (1)								
7		Reading Comprehension Part 5: Incomplete Sentences (2)								
8		Reading Comprehension Part 5: Incomplete Sentences (3)								
9		Reading Comprehension Part 6: Text Completion (1)								
10		Reading Comprehension Part 6: Text Completion (2)								
11		Reading Comprehension Part 6: Text Completion (3)								
12		Reading Comprehension Part 7: Reading Comprehension (1)								
13		Reading Comprehension Part 7: Reading Comprehension (2)								
14		Reading Comprehension Part 7: Reading Comprehension (3)								
15		Reading Comprehension Part 7: Reading Comprehension (4)								
		評価項目/割合		評価内容						
基		1. 課題 30 %		Assignment: self-study portion of the textbook						
		2. 授業姿勢 30 %		Participation: positive engagements and staying focused on the task						
		3. テストその 40 %		Tests: Review tests upon completing each part.						
		課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
授業実		The students will self-study the book "Basic Grammar in Use." The students will take a TOEIC L&R IP Test in July and/or January, 2024.								

ホテル・プライダル 学科							2年課程		1	年
科 目 名	TOEIC S&W I A							学期	前	期
担当教員	Steve Saunders	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1	
学習目的	This course focuses on practical English in the workplace and it aims to brush up speaking and listening skills in particular.									
授業内容	The language areas presented are taught within a communicative framework and most of the activities are student-centered with pair work being an integral part of the course.									
学習目標	To gain communicative competence in telephoning, meeting and greeting clients, making plans and arrangements, dealing with problems, etc.									
使用テキスト	English Firsthand Access with My Mobile World_Student Book / Passport to Work_Course Book / Passport to Work_Workbook									
週数	授業計画									
1	English Firsthand, Access Unit 1: How are you? Passport to Work Unit 1: I'm in the computer business									
2	English Firsthand, Access Unit 2: Do you understand? Passport to Work Unit 2: No, he's the boss!									
3	English Firsthand, Access Unit 3: This is my room. Passport to Work Unit 3: This is where we have lunch									
4	English Firsthand, Access Unit 4 : When do you get up? Passport to Work Unit 4: Can I use your phone?									
5	English Firsthand, Access Unit 5: Who's that? Passport to Work Unit 5: How about some coffee?									
6	English Firsthand, Access Unit 6: That's a great shirt! Passport to Work Unit 6: Can you meet me at the airport?									
7	English Firsthand, Access Unit 7: I love weekends! Passport to Work Unit 7: I'll take care of it									
8	English Firsthand, Access Unit 8: Let's eat! Passport to Work Unit 8: What are the sales figures?									
9	English Firsthand, Access Unit 9: I really enjoy it! Passport to Work Unit 9: Do you have an e-mail address?									
10	English Firsthand, Access Unit 10: Welcome to my home. Passport to Work Unit 10: I'd like to work overseas									
11	English Firsthand, Access Unit 11: Where did you go? Passport to Work Unit 11:What's your job like?									
12	English Firsthand, Access Unit 12: Will I be famous?r Form & Email Passport to Work Unit 12: Would you like me to fax you the details?									
13	English Firsthand, Access: Review Passport to Work Unit 13: What's the budget for the website?									
14	English Firsthand, Access: Review Passport to Work Unit 14: I'll meet you at the north exit									
15	English Firsthand, Access: Review Passport to Work Unit 15: Good luck in your new job!									
	評価項目/割合		評 価 内 容							
備 基	1. 課 題	40 %	Assignments in My Mobile World							
	2. 授業姿勢	30 %	positive engagement in in-class activities							
	3. テストその	30 %	tests in My Mobile World							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
授業実施										

ホテル・ブライダル 学科								2年課程		1	年
科 目 名	TOEIC S&W I B							学期	前	期	
担当教員	Steve Saunders	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1		
学習目的	This course focuses on practical English in the workplace and it aims to brush up speaking and listening skills in particular.										
授業内容	The language areas presented are taught within a communicative framework and most of the activities are student-centered with pair work being an integral part of the course.										
学習目標	To gain communicative competence in telephoning, meeting and greeting clients, making plans and arrangements, dealing with problems, etc.										
使用テキスト	English Firsthand Success with My Mobile World_Student Book / Whaddaya Say?										
週数	授業計画										
1	Success Unit 1: What's your name? Whaddaya Say? Unit 1: How's Your Femiey?										
2	Success Unit 2: I love fashion! Whaddaya Say? Unit 2: Yours Is a Great Job!										
3	Success Unit 3: How do you stay healthy? Whaddaya Say? Unit 3: I Have the Pertect Car for You										
4	Success Unit 4: How do I get there? Whaddaya Say? Unit 4: Where Are the Bags of Chips?										
5	Success Unit 5: What's that? Whaddaya Say? Unit 5: Do You Like the Internet?										
6	Success Unit 6: What's your dream? Whaddaya Say? Unit 6: Let's Go Shopping										
7	Success Unit 7: It was great! Whaddaya Say? Unit 7: What Are You Deing This Weekend?										
8	Success Unit 8: How much do you know? Whaddaya Say? Unit 8: I Want to Have a Hamburger										
9	Success Unit 9: She can really sing! Whaddaya Say? Unit 9: We're Going to See "The Monster That Ate Cleveland"										
10	Success Unit 10: What do you like to do? Whaddaya Say? Unit 10: Can You See the Stage?										
11	Success Unit 11: Of course you can. Whaddaya Say? Unit 11: What Can I Get You for Your Cold?										
12	Success Unit 12: What happened next? Whaddaya Say? Unit 12: Take Bus 4 to Second Street										
13	Success : Review Whaddaya Say? Unit 13: I'm Going to Try to Find a Job										
14	Success : Review Whaddaya Say? Unit 14: I've Got to Check Your Teeth										
15	Success : Review Whaddaya Say? Unit 15: I Used to Be an Engineer for the Railroad										
備 基	評価項目/割合		評 価 内 容								
	1. 課 題	40 %	Assignments in My Mobile World								
	2. 授業姿勢	30 %	positive engagement in in-class activities								
	3. テストその	30 %	tests in My Mobile World								
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。											
授業実											

ホテル・ブライダル 学科							2年課程		1 年		
科 目 名		TOEIC S&W II A						学期	前	期	
担当教員		Steve Saunders	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1	
学習目的		This course focuses on practical English in the workplace and it aims to brush up speaking and listening skills in particular.									
授業内容		The language areas presented are taught within a communicative framework and most of the activities are student-centered with pair work being an integral part of the course.									
学習目標		To gain communicative competence in telephoning, meeting and greeting clients, making plans and arrangements, dealing with problems, etc.									
使用テキスト		English Firsthand Book 1 with My Mobile World,Student Book / Whaddaya Say?									
週数	授業計画										
1	English Firsthand, Book 1 Unit 1: It's nice to meet you.										
2	English Firsthand, Book 1 Unit 2: Who are they talking about?										
3	English Firsthand, Book 1 Unit 3: When do you start?										
4	English Firsthand, Book 1 Unit 4 : Where does this go?										
5	English Firsthand, Book 1 Unit 5: How do I get there?										
6	English Firsthand, Book 1 Unit 6: What happened?										
7	English Firsthand, Book 1 Unit 7: I'd love that job.										
8	English Firsthand, Book 1 Unit 8: What's playing?										
9	English Firsthand, Book 1 Unit 9: What are you going to do?										
10	English Firsthand, Book 1 Unit 10: How much is this?										
11	English Firsthand, Book 1 Unit 11: How do you make it?										
12	English Firsthand, Book 1 Unit 12: Listen to the music.										
13	English Firsthand, Book 1: Review										
14	English Firsthand, Book 1: Review										
15	English Firsthand, Book 1: Review										
		評価項目/割合		評 価 内 容							
価 基	1. 課 題	40 %	Assignments in My Mobile World and Passport to Work (Workbook)								
	2. 授業姿勢	30 %	positive engagement in pair/group work								
	3. テストその	30 %	tests in My Mobile World								
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
授業実											

ホテル・ブライダル 学科								2年課程		1	年
科 目 名		EIC (English for International Communication) L&S I A						学期	前	期	
担当教員	Steve Saunders	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2		
学習目的	富山の観光名所・特産品・文化・芸術について英語で学習することを通して、英語Listening & Speaking Skill の強化をはかる										
授業内容	各単元の「単語・熟語」「重要表現に発音やリズム」等についてロールプレー中心にペアワーク・グループワーク等の演習形式で学ぶ										
学習目標	英語による富山の観光名所や特産品の説明を理解するとともに、訪日観光客へ英語で説明できるようになる										
使用テキスト	Let's talk about KITOKITO Toyama（とやま英語ハンドブック）※学校独自に製作した動画を使用										
週数	授業計画										
1	Chapter 1 Living in harmony with nature 自然と人間の共生 1 The circulation of precious water／かけがえない命の水の循環										
2	Chapter 1 Living in harmony with nature 自然と人間の共生 2 Eff orts to live in harmony with nature／自然と人間の共生の努力										
3	Chapter 1 Living in harmony with nature 自然と人間の共生 3 Tateyama and Kurobe, treasures of Toyama／富山の宝 立山・黒部										
4	Reivew & Presentation * Chapter 1の中から個々の学生が選んだテーマについて、5分間のプレゼンテーションを行う(準備と発表)										
5	Field Work: 富山県内の観光名所①										
6	Field Work: 富山県内の観光名所②										
7	Chapter 2 Safety & Disaster Prevention 安全・防災 1 Forests and dams to prevent landslides／山々の崩れを防ぐ森と堰堤										
8	Chapter 2 Safety & Disaster Prevention 安全・防災 2 Overcoming disasters and modern city planning／災害の克服と近代都市建設										
9	Chapter 2 Safety & Disaster Prevention 安全・防災 3 Overcoming a pollution disease／公害を乗り越えて										
10	Reivew & Presentation * Chapter 2の中から個々の学生が選んだテーマについて、5分間のプレゼンテーションを行う(準備と発表)										
11	Chapter 3 Industry & Science 産業・科学 1 Human resources and the modern industry developed by the pharmaceutical industry／売薬が生										
12	Chapter 3 Industry & Science 産業・科学 2 Toyama, a prefecture of manufacturing／ものづくり県富山										
13	Chapter 3 Industry & Science 産業・科学 3 Endeavors and achievements by scientists／科学者たちの努力と功績										
14	Chapter 3 Industry & Science 産業・科学 4 Land, sea and air transportation networks／陸・海・空の交通ネットワーク										
15	Reivew & Presentation * Chapter 3の中から個々の学生が選んだテーマについて、5分間のプレゼンテーションを行う(準備と発表)										
備 基	評価項目/割合		評 価 内 容								
	1. 課 題	30 %	Dictation(書き取り)のほか、暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表)、ロールプレイ、グループワークを評価します								
	2. 授業姿勢	30 %	出席と授業中の積極性を評価します。授業中の積極性としては、自発的な質問、自主的な取り組み姿勢、ミスを恐れないで発話しよ								
	3. テストその	40 %	各単元(Unit)終了ごとに Mini Test を行います								
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。											
授業実	初回の授業でTOEIC Bridge の模擬試験を実施し、実力測定とします。後期1月にTOEIC テストを実施します										

ホテル・ブライダル 学科							2年課程		1	年
科 目 名	EIC (English for International Communication) L&S I B							学期	後	期
担当教員	Steve Saunders	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2	
学習目的	富山の観光名所・特産品・文化・芸術について英語で学習することを通して、英語Listening & Speaking Skill の強化をはかる									
授業内容	各単元の「単語・熟語」「重要表現に発音やリズム」等についてロールプレー中心にペアワーク・グループワーク等の演習形式で学ぶ									
学習目標	英語による富山の観光名所や特産品の説明を理解するとともに、訪日観光客へ英語で説明できるようになる									
使用テキスト	Let's talk about KITOKITO Toyama (とやま英語ハンドブック) ※学校独自に製作した動画を使用									
週数	授業計画									
1	Chapter 4 Traditional Culture & History 伝統文化・歴史 1 The beauty of traditional buildings and their meaning in modern society／伝統建築									
2	Chapter 4 Traditional Culture & History 伝統文化・歴史 2 Rich local culture／豊かな郷土文化									
3	Chapter 4 Traditional Culture & History 伝統文化・歴史 3 The ancient history of Toyama ／「越の国」から越中、加賀藩・富山藩、そして富山									
4	Reivew & Presentation * Chapter 3～4のなかから個々の学生が選んだテーマについて、5分間のプレゼンテーションを行う(準備と発表)									
5	Field Work: 富山県内の観光名所③									
6	Chapter 5 Literature & Contemporary Art 文学・現代芸術 1 Etchu Man'yo : Beautiful scenery of Etchu kept in excellent waka po									
7	Chapter 5 Literature & Contemporary Art 文学・現代芸術 2 A prefecture advanced in the arts／芸術の先進地富山									
8	Chapter 5 Literature & Contemporary Art 文学・現代芸術 3 Leaders in literature／文学創造の担い手									
9	Reivew & Presentation * Chapter 5 の中から個々の学生が選んだテーマについて、5分間のプレゼンテーションを行う(準備と発表)									
10	Chapter 6 Welfare & Sports 福祉・スポーツ 1 Toyama, a prefecture of welfare／福祉の富山									
11	Chapter 6 Welfare & Sports 福祉・スポーツ 2 Toyama is active in sports／スポーツが盛んな富山									
12	Reivew & Presentation * Chapter 6 の中から個々の学生が選んだテーマについて、5分間のプレゼンテーションを行う(準備と発表)									
13	Chapter 7 Lifestyle & Child-raising 生活・子育て 1 One of the best places to live／住みよさ全国トップクラス									
14	Chapter 7 Lifestyle & Child-raising 生活・子育て 2 A prefecture of education and passion to develop people／人を育てる熱意 教									
15	Chapter 7 Lifestyle & Child-raising 生活・子育て 3 Traditional culture of slow food／伝統が今に生きるスローフードの食文化									
備 基	評価項目/割合		評 価 内 容							
	1. 課 題	30 %	Dictation(書き取り)のほか、暗唱、朗読などの Recitation (口頭発表)、ロールプレイ、グループワークを評価します							
	2. 授業姿勢	30 %	出席と授業中の積極性を評価します。授業中の積極性としては、自発的な質問、自主的な取り組み姿勢、ミスを恐れないで発話しよ							
	3. テストその	40 %	各単元(Unit)終了ごとに Mini Test を行います							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
授業実	初回の授業でTOEIC Bridge の模擬試験を実施し、実力測定とします。後期1月にTOEIC テストを実施します									

ホテル・プライダル 学科							2年課程		2 年		
科 目 名		EIC (English for International Communication) L&S II A						学期		前	期
担当教員		Steve Saunders	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2	
学習目的		ビジネスシーンにおける英語発信力を磨く									
授業内容		さまざまなビジネスシーンに特有な語彙・表現等について学び、使いこなせるまでにマスターする									
学習目標		ビジネスシーンに特有な語彙・表現等に習熟し、それらを使って、シーンに応じて自分の考えや思いを表現できるようにする									
使用テキスト		English at Work 3, Cengage Learning									
週数		授業計画									
1		(EW),Unit 1 Communication on the Phone: Meeting (Re)arrangements									
2		(EW),Unit 2 Introducing Companies and Products: Consumer Problems									
3		(EW),Unit 3 Socializing with Confidence: Icebreaking, Do's and Don'ts									
4		Review and Presentation									
5		(EW),Unit 4 JobInterviews:InterviewSkills									
6		(EW),Unit 5 Business Writing: Advertising									
7		(EW),Unit 6 Job Hunting: Looking Online									
8		(EW),Unit 7 Powerful Presentations: Pitching									
9		(EW),Unit 8 Participating in a Meeting: Wrapping Things Up									
10		Review and Presentation									
11		(EW),Unit 9 Negotiating for Success: Making a Deal									
12		(EW),Unit 10 Traveling on Business: Trade Shows									
13		(EW),Unit 11 Technology: :Social Media									
14		(EW),Unit 12 Solving Problems: Business Problems									
15		Review and Presentation									
		評価項目/割合		評 価 内 容							
価 基	1. 課 題 30 %		各単元の語彙・表現について、自分で文を作り、発言できるようにする								
	2. 授業姿勢 30 %		出席と授業中の積極性を評価します。授業中の積極性としては、自発的な質問、自主的な取り組み姿勢、ミスを恐れないで発話し								
	3. テストその 40 %		各単元(Unit)終了ごとに Mini Test を行います								
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
授業実施											

科 目 名	サービス接遇ⅠB							学期	後	期
担当教員	高野直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1	
学習目的	ホテル業界・ブライダル業界で必要なサービス接遇の心構えを学習する									
授業内容	ホテル業界・ブライダル業界で必要な顧客に満足を与える行動をサービス接遇の観点から学ぶ									
学習目標	ホテル業界・ブライダル業界で必要なサービス接遇の知識と行動基本姿勢を理解する									
使用テキスト	サービス接遇検定受験ガイド 2 級 サービス接遇検定実問題集 1－2 級									
週数	授業計画									
1	2 級学習 専門知識 ① (サービ知識ほか)									
2	2 級学習 専門知識 ② (従業知識ほか)									
3	2 級学習 一般知識 (社会常識ほか)									
4	2 級学習 対人技能 ① (人間関係ほか)									
5	2 級学習 対人技能 ② (接遇知識ほか)									
6	2 級学習 対人技能 ③ (話し方ほか)									
7	2 級学習 対人技能 ④ (服装ほか)									
8	2 級学習 実務技能 ① (問題処理ほか)									
9	2 級学習 実務技能 ② (環境整備ほか)									
10	2 級学習 実務技能 ③ (金品管理ほか)									
11	2 級学習 実務技能 ④ (金品搬送ほか)									
12	2 級学習 実務技能 ⑤ (社交業務ほか)									
13	準 1 級 基本言動 ① (入室ほか)									
14	準 1 級 基本言動 ② (企業連携)									
15	準 1 級 基本言動 ③ (企業連携)									
	評価項目/割合		評 価 内 容							
評 価 基 準	1. 課 題 30 %		演習課題の取り組み姿勢							
	2. 授業姿勢 30 %		出席状況・授業態度・言葉遣い							
	3. テスト等 40 %		実技試験と期末試験の総合判定							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標設定・課外授業実施予	サービス接遇検定 11月検定目標2級合格									

科目名	サービス接遇ⅡB						学期	後 期	
担当教員	高野直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	ホテル業界・ブライダル業界に必要なサービス接遇の心構えを学習する								
授業内容	ホテル業界・ブライダル業界に必要な顧客に満足を与える行動をサービス接遇の観点から学ぶ								
学習目標	ホテル業界・ブライダル業界に必要なサービス接遇の知識と行動基本姿勢を理解する								
使用テキスト	サービス接遇検定受験ガイド準1級級 サービス接遇検定受験ガイド1級 サービス接遇検定実問題集1								
週数	授業計画								
1	1級 対人技能（人間関係ほか）								
2	1級 対人技能（人間関係ほか）								
3	1級 対人技能（人間関係ほか）								
4	1級 対人技能（接遇知識ほか）								
5	1級 対人技能（接遇知識ほか）								
6	1級 対人技能（接遇知識ほか）								
7	1級 実務技能（問題処理ほか）								
8	1級 実務技能（問題処理ほか）								
9	1級 実務技能（問題処理ほか）								
10	1級 実務技能（金品搬送ほか）								
11	1級 実務技能（金品搬送ほか）								
12	1級 実務技能（金品搬送ほか）								
13	1級検定対策講義								
14	1級検定対策講義								
15	1級検定対策講義								
	評価項目/割合		評価内容						
評価基準	1. 課題 30 %		演習課題の取り組み姿勢						
	2. 授業姿勢 30 %		出席状況・授業態度・言葉遣い						
	3. テスト等 40 %		実技試験と期末試験の総合判定						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定	サービス接遇検定 11月 検定目標 1級合格								

科 目 名	ブライダルビューティⅡB							学期	後 期		
担当教員	高桑 裕美	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1		
学習目的	メイクの基礎を学習する										
授業内容	メイクの知識と技術を学ぶ										
学習目標	メイクの楽しさを実感し、メイクの必要性を理解する										
使用テキスト	プリント配布										
週数	授業計画										
1	メイクの基礎知識										
2	顔の造形理論										
3	アイブロウスタイリング										
4	ベースメーキャップ基本										
5	ベースメーキャップ応用										
6	ポイントメーキャップの基本・応用										
7	相モデルでメーキャップ練習① ナチュラル										
8	相モデルでメーキャップ練習② ナチュラル										
9	相モデルでメーキャップ練習③ キュート										
10	相モデルでメーキャップ練習④ キュート										
11	相モデルでメーキャップ練習⑤ クール										
12	相モデルでメーキャップ練習⑥ クール										
13	確認テスト										
14	イメージメイク作り①										
15	イメージメイク作り②										
評価基準	評価項目/割合				評 価 内 容						
	1. 課 題 30 %										
	2. 授業姿勢 30 %										
	3. テスト等 40 %										
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検 定・課 外授業 実施予											

科目名	ホテルブライダルマーケティングⅠB							学期	後 期
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	外国人旅行者の一人ひとりにあった的確な対応と提案から「顧客創造」を実現できる人材の育成を目的とする。								
授業内容	ワークを通して観光業のマーケティングの意味や種類、考え方を学ぶ								
学習目標	マーケティングに関する用語や概念を身に付け、新たな観光プランの創出を行う								
使用テキスト	オリジナルテキスト								
週数	授業計画								
1	マーケティングとは活動の種類や効果について								
2	観光業におけるマーケティングとは何か								
3	観光業におけるSWOT分析								
4	観光業におけるSWOT分析								
5	観光業におけるSWOT分析								
6	観光業におけるSTPマーケティング								
7	観光業におけるSTPマーケティング								
8	観光業における4C（観光地や観光コース、イベント）								
9	観光業における4C（観光地や観光コース、イベント）								
10	観光業における4C（観光地や観光コース、イベント）								
11	フィールドワーク								
12	フィールドワーク								
13	観光業をマーケティングの理論に基づき分析								
14	観光業をマーケティングの理論に基づき分析								
15	観光業をマーケティングの理論に基づき分析								
	評価項目/割合		評価内容						
評価基準	1. 課題 30 %		授業内の課題の取組み						
	2. 授業姿勢 30 %		①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。						
	3. テスト等 40 %		発表内容、総括記録、各自実施レポート						
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標設定・課外授業実施予定									

日標模
定・課
外授業
実施予
定

目標・課
外授業予
定

科目名	色彩ⅠB							学期	後	期
担当教員	畠山 博子	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1	
学習目的	基本的な色彩理論を学習する									
授業内容	求められるカラーコーディネートとはどういうものかを学ぶ									
学習目標	色彩とは何か、応用的な理解ができ、実践に活かせる力をつける									
使用テキスト	色彩検定 3 級テキスト、色彩検定3級問題集、色彩検定過去問題集									
週数	授業計画									
1	PCCSの理解と色彩調和									
2	PCCSの理解と色彩調和									
3	色彩心理									
4	色彩心理									
5	配色イメージ									
6	配色イメージ									
7	ファッションと色彩									
8	ファッションと色彩									
9	インテリアと色彩									
10	インテリアと色彩									
11	慣用色名									
12	慣用色名									
13	検定に向けての学習									
14	検定に向けての学習									
15	検定に向けての学習									
評価基準	評価項目/割合		評価内容							
	1. 課題 50 %		レポート、小テスト結果等を評価する							
	2. 授業姿勢 30 %		授業規律、受講態度、積極性、質問応答等を評価する							
	3. テスト等 20 %		期末テスト結果を評価する							
目標検定・課外授業実施予定	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
	AFT色彩検定 3 級進行状況により変更する場合があります。									

目標・課
外授業
実施予
定

科目名	インターンシップ国内（ⅡＢ）							学期	後	期
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	実習・実技	分類	選択必修	単位数	4	
学習目的	授業で学んだホテルの知識を確認することを目的に現場で実践躬行することを目的とする。									
授業内容	現場の雰囲気、仕事内容を体験し、ホテル・ブライダル業界の実態について学習する。									
学習目標	授業で学んだ知識を活かし、また机上の学習とのギャップを理解する。									
使用テキスト										
週数	授業計画									
1	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる									
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
	評価項目/割合		評 価 内 容							
評価基準	1. 課 題 70 %		授業内の課題の取組み							
	2. 授業姿勢 30 %		言葉づかい、態度、マナー							
	3. テスト 10 %									
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予										

科 目 名	就職支援ⅠB						学期	後	期
担当教員	AD、島田勝彰	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	就職活動や仕事を行っていく上で知っておくべきルールやマナーを理解し、習得する。								
授業内容	就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。								
学習目標	就職活動に直結する履歴書作成や模擬面接等を通して自己表現力、コミュニケーション力を身につける。								
使用テキスト	Bit就職ハンドブック								
週数	授業計画								
1	【オリエンテーション】 昨年度の実績、就職活動の流れ、社会の状況、心構えなどについて知る								
2	インターンシップの振り返り(外部講師)								
3	非認知能力の振り返り②(学修到達度自己評価ヒアリングシート)								
4	業界・職業研究								
5	企業研究								
6	自己分析講座(外部講師)								
7	履歴書・エントリーシートの書き方講座(外部講師)								
8	履歴書作成の実践①								
9	履歴書作成の実践②								
10	採用試験について(書類選考、面接、作文、適性検査能力試験、作品やポートフォリオ提出など)								
11	適性検査能力試験 模擬受験、Web性格診断								
12	今後の就活に向けて 就職活動の報告書の提出や活用方法、各種証明書の発行、求人マッチングシステム「UMP」活用について								
13	就活キックオフセミナー「働く意義や人生をかけて成長させたいことについて考える」「就職活動の流れと準備を理解する」(外部講師)								
14	面接対策講座(外部講師)								
15	非認知能力の振り返り自己分析③(学修到達度自己評価ヒアリングシート)								
評価基準	評価項目/割合		評価内容						
	1. 課題	40 %	課題プリント等からの評価をもとに算出						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率および受講マナー、積極的に授業に参加しているか。以上の観点より算出						
	3. テストその他	30 %	確認テスト結果より算出						
目標検定・課外授業実施予定・その他	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								

科 目 名	就職支援ⅡA						学期	前	期
担当教員	AD、島田勝彰	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	自己の将来を明確にし、希望職への内定を目指す。								
授業内容	採用試験対策や採用試験の振り返りを行う。								
学習目標	グループワークを通して、様々な価値観に触れ、お互いの価値観の違いを認め受容する中で、対人関係力を身につける								
使用テキスト	Bit就職ハンドブック								
週数	授業計画								
1	【オリエンテーション】 「目指す職業」「卒業後の自分」について自己分析する(ライフプラン)								
2	模擬面接①(外部講師)								
3	模擬面接②								
4	会社は自分のキャリア形成の場、自分のビジネスキャリアは自分で作る								
5	ビジネス会話の基本								
6	非認知能力の振り返り自己分析④(学修到達度自己評価ヒアリングシート)								
7	不満やクレームを防ぐ方法、再発防止について(グループワーク)								
8	チームワークの意義と重要性・リーダーシップとメンバーシップについて学ぶ①(グループワーク)								
9	チームワークの意義と重要性・リーダーシップとメンバーシップについて学ぶ②(グループワーク)								
10	【マネジメントの基本】 PDCAサイクル、目標から計画を立てる								
11	【マネジメントの基本】 計画の重要性について学び採用試験後の振り返りと対策の重要性について知る								
12	採用試験の振り返り								
13	採用試験の振り返り								
14	企業説明会								
15	企業説明会								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課 題	40 %	課題プリント等からの評価をもとに算出						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率および受講マナー、積極的に授業に参加しているか。以上の観点より算出						
	3. テストその他	30 %	確認テスト結果より算出						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他									

